

かけはし

第49号 平成13年5月31日発行
千代田区教育委員会



みんなで力を合わせてがんばりました。
(箱根移動教室 番町小)

箱根の歴史や自然、名物など色々調べたよ。
学校で発表するのが今から楽しみです。

主
な
記
事

- ☆平成13年度教育予算
- ☆スクールカウンセラー
- ☆区が新たに指定した文化財

教育委員紹介

三月三十一日付けで教育委員会は左記の構成になりました。千代田区における数々の教育課題に丸となって取り組んで参ります。



教育委員長
横山 安宏

教育委員長職務代理
栗岩 英雄

教育委員
大杉 宏光

教育委員
曾根 史子

教育委員(教育長)
高崎 謙作

入学・進級

四月に入学者・入園式が行われ、新しいお友達仲間入りしました。在校・園の子どもたちと一緒に新しい環境の中で、元気いっぱい過ごしています。

平成13年度 学級数・在籍者数

平成13年5月1日現在

区分	全学級数	新入生数	前年度比	在籍者数	前年度比
幼稚園	28	136	△ 16	456	△ 8
小学校	89	447	84	2,439	28
中学校	37	391	△ 6	1,235	△ 4

教科書展示会のお知らせ

平成十四年度から使用する新しい教科書の見本展示会を開催します。

日時

6月5日(火)～7月11日(水)
午前9時～午後5時
(土曜・日曜休館)

会場

教育研究所(神田さくら館内)
7階情報資料室 教科書センター

※神田まちかど図書館からお入りください。

【お問い合わせ】
教育研究所

3256-8446



平成13年度スタート

平成13年度教育予算

総額 六三億三、三〇〇万円

平成13年度当初教育予算のうち、子どもたちの学習に関連のある主なものを紹介します。(金額は一億円未満切り上げとしています)

スクールカウンセラー派遣
一、九四八万円

心身ともに健全な子どもたちの育成を図るため、臨床心理を専門とするカウンセラーを全幼稚園、小・中学校に定期派遣します。

また、要請に応じて保育園にも派遣し、幼児期から小・中学校期へと継続的なカウンセリングを行います。

中学校のあり方調査研究

一、二二二万円

昨年夏に「中学校教育検討会報告」で示された中高一貫教育、特色ある学校づくり、学校選択の自由化にともなう課題などを調査研究し、教育委員会素案を作成します。

仮称麹町2丁目公共施設建設

七億九、〇四二万円

新しい時代に対応した学校教育活動と生涯学習活動の場としての小学校、幼稚園舎の建設を進めます。

学校運営連絡会

八五万円

今まで以上に学校、幼稚園の自主性、自律性を高めるとともに、地域との連携を深め、地域に根ざした特色のある学校教育を主体的かつ積極的に展開するため、校・園長が学校運営に関し、保護者や地域住民などの意見を聴き、協力を求める機関として、学校運営連絡会を設置します。

教科用図書採択

五六万円

平成12年度から教科書採択事務が、都から千代田区へ移管されました。今年度は平成14年度から使用する教科書を採択します。

施設改修

二億六、三八六万円

子どもたちの教育環境の充実のため、校舎、園舎、校外施設の改修にかかる経費です。

コンピュータ教育

一億三、〇六七万円

学校教育の情報化対応に備え、コンピュータやインターネットの活用による情報教育の充実を図ります。

自然体験・移動教室・夏季施設

五、八五一万円

小学校は嬉恋・箱根・保田で、中学校は軽井沢・保田で実施する宿泊をともなう行事の経費です。

海外交流・国際理解教育

一、八〇五万円

中学校では英国ウエストミンスター立学校との相互交流、小学校では近隣の外国入学校などとの交流を通して国際理解教育を推進します。

総合的な学習など

八八八万円

平成14年度から始まる新学習指導要領の移行措置として昨年度から始められ、子どもたちの「生きる力」を育みます。

区役所の代表電話番号
を追加しました

☎ 3264-2111

より覚えやすく、親しみやすく、分かりやすいものにするため、代表電話番号を追加しました。なお、これまでの3264-0151もご利用できます。

スクールカウンセラーの定期派遣

教育研究所では平成13年度からの新規事業として、教育相談専門員（臨床心理士）を、スクールカウンセラーとして、全校・園に定期的に派遣しています

新規事業

これまでも中学校へは教育相談専門員が定期的に訪問し、小規模ながら教育相談活動を行ってきました。しかし現在では、小学校・幼稚園、および、保育園からも、中学校と同様の「定期的派遣」の要望が寄せられるようになりました。そこで、平成13年度からの新規事業として、スクールカウンセラーが学校・園に定期的に訪問し、教育相談に当たっています。

千代田区の独自性

● 全校・園への派遣

千代田区のスクールカウンセラー定期派遣事業は、文部科学省が全国の中学校に5年間をかけて派遣するスクールカウンセラーとは異なる、区独自の新制度として全国に先駆けて開始しました。この制度の特色は、千代田区の文化や地域と密接に関わってきた教育相談専門員が各幼稚園・小学校・中学校を一齐に定期訪問することにあります。区内からスクールカウンセラーを派遣することによって、千代田区の学校・園のニーズに合った援助を実現できると考えています。

縦割りのネットワーク化

この制度は、中学校に派遣されるカウンセラーが、その中学校の学区域内の小学校と幼稚園、保育園にも訪問する体制をとっています。同一のカウンセラーによる同一区域内の幼・小・中学校縦割りネットワーク化によって、一人の子どもの発達段階に沿った継続的な情報収集・観察・相談が実現できます。しかし、小学校の中には、学区域の関係上、児童が2つの中学校に別れて進学する場合があります。このように、完全な縦割り体制が取りにくい幼稚園や小学校については、主担当のスクールカウンセラーの他に、副担当を充て、2名体制で縦割りネットワークを強化しています。このように、千代田区では徹底した縦割り体制によって、子どもの成長を長期的にサポートすることを目指しています。

● 訪問時間

具体的な訪問は、中学校は各校週5時間、小学校は各校週2時間、幼稚園は各園週1時間となっています。また、6つの保育園については、各園からの要請に応じて随時派遣します。

これまでの実績

氾濫する情報そして多様化する価値観の中で、持ち込まれた様々な相談に対応していくためには、教育研究所の中でのカウンセリングだけでなく、学校との連携も非常に重要になってきます。今年度から始まるスクールカウンセラー定期派遣事業以前にも、学校訪問という形で、教育相談専門員は学校へうかがい、学校との連携を図ってきました。

平成11・12年度 教育相談総合研修会から

教育研究所では、年度末に教育相談活動の総まとめとして、教育相談総合研修会を行っています。平成11・12年度の教育相談総合研修会では、先に述べたような学校訪問活動から感じられたことを、教育相談専門員から発表いたしました。

平成11年度は「スクールカウンセラーはこう見る」学校現場での子ども理解」です。スクールカウンセラーは心理の専門家として、子どもの心理的な内面の動きだけではなく発達の側面や対人関係のダイナミクスなど多くの視点から問題を検討し、今何が起きているのかを把握しようとしている、ということをつくつた事例を通して発表いたしました。

平成12年度は「教師とスクールカウンセラーの連携」というタイトルで、具体的な連携の形を模索していきました。そ

手と手を取りあっています

スクールカウンセラーだけでは対応できないケースも多くあり、他機関との協力が不可欠です。例えば、子どもに対する暴力や育児放棄といった虐待は児童相談所と、心の悩みだけでなく身体症状がある場合は医療機関と、また非行などは司法機関と協力しながら問題解決にあたっています。

スクールカウンセラーの紹介

甲斐真路（かいしんじ）

千代田幼・小、和泉幼・小、今川中
微力ですが、できることを努力して、わずかずつでも積み重ねていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

坂野由美子（さかのゆみこ）

お茶の水幼・小、一橋中
たくさんの先生方とお話しする機会があればうれしいです。精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。

新屋賀子（しんやよりこ）

番町幼・小、富士見幼・小
子どもを教え、育てる大変さや喜びを、少しでも分けていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願致します。

鈴木真理（すずきまり）

麹町幼・小・中
「相談」などと肩肘張らずに、小さなことでも一緒に考えていけたらと思っています。よろしくお願致します。

羽田貴子（はねだたかこ）

昌平幼・小、練成中
皆さんに声をかけていただけたのがとてもうれしいです。訪問した際には、どうぞよろしくお願いたします。

米山理香（よねやまりか）

九段幼・小・中
訪問をととても楽しみにしています。少しでも多くの方と顔見知りになりたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。

（以上、あいうえお順に紹介しました。学校・園に相談員が訪問した際には、気軽に声をおかけください。）

スクールカウンセラー・
教育相談についての

お問い合わせは下記までに

教育研究所
教育相談部

電話：3256-8140



修学旅行 法隆寺にて(魏町中)



花小金井学園でスポーツテストを行いました(お茶の水小)



遠足 新宿御苑で思いっきり楽しみました(昌平幼)

学

校

行

事

児童・生徒の心と体の就学相談

平成14年度に新入学を予定されている児童・生徒の保護者を対象に、子供たちの可能性を最大限に引き出すために、一人一人の発達や障害の状態に応じた適切な教育内容や環境などについて話し合う就学相談を行います。

日時

7月2日(月)～8月31日(金)

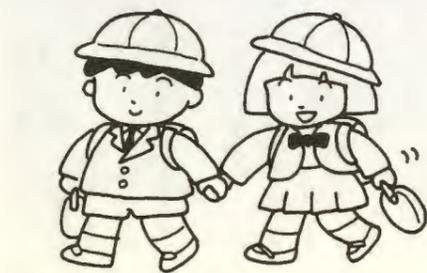
午前9時～午後5時
ただし、土・日曜日と祭日は除きます。

場所

区役所3階 教育委員会学務課

【お問い合わせ】

学務課学務係



「はっけよい!のこった!」 少年相撲大会



土のおいが印象的でした 孀恋自然体験交流教室



修学旅行 平城京にて (練成中)

区の指定文化財

千代田区教育委員会では文化財保護審議会の答申を受け、新たに有形文化財二件を指定いたしました。

「銅製燈籠」一対

所有：日枝神社永田町二丁目十番五号
日枝神社本殿の前に一対の銅製燈籠(高さ二五七・三㎝、直径一八三・五㎝(基礎部分)で八角形)があります。この銅製燈籠は、日枝神社がこの地に移った万治二年(一六五九年)に奉納されたもので、江戸時代初期に制作された工芸品として、区の歴史を考える上で欠くこと出来ない貴重な資料です。

「水野年方顕彰碑」一基

所有：神田神社外神田二丁目十六番二号
神田神社本殿の北側、表参道の脇に一基の顕彰碑(高さ三七八・四㎝、正六角柱断面の六角形の一边は四〇・七㎝燈籠をかたどった小さな塔形)があります。この顕彰碑は、大正十二年(一九二三年)に、浮世絵系日本画家として明治時代に活躍した水野年方の偉業を顕彰する門弟らにより建設されたものです。江戸時代末期以降の区における絵画史を考える上で欠くこと出来ない貴重な資料です。

水野年方顕彰碑

飯田町遺跡ミニ展示開催

一昨年飯田町土地区画整理事業地内で発見された飯田町遺跡は、現在発掘調査を終え出土品の整理を行っています。出土品の一部は、6月12日(火)から7月15日(日)まで、東京都江戸東京博物館において日本全国の代表的な遺跡を紹介する「発掘された日本列島展」に出品します。四番町資料館では、これを記念して飯田町遺跡出土遺物のミニ展示コーナーを開設します。伊万里や中国産の磁器大皿といった江戸時代前期の遺物、讃岐高松藩松平家上屋敷で使われた高松焼などを展示します。この展示で三葉葵入りの食器などを使った大名の生活に触れてみてはいかがでしょうか。

日時 6月12日(火)～7月7日(土)

(休館日：6/18・25・7/2)

場所 四番町歴史民俗資料館

1階展示室内

【お問い合わせ】

四番町歴史民俗資料館

☎(32338) 1139

千代田図書館からお知らせ

千代田図書館の特別整理

6月21日(木)～29日(金)まで休館します。四番町図書館、ちよだパークサイドプラザ図書館、昌平・神田ましかど図書館は平常どおり(四番町図書館は21日(木)と25日(月)が休館)開館します。

本のリサイクル

区内在住・在勤・在学の方を対象に、使われなくなった本を一人10冊まで無料で差し上げます。

日時 6月28日(木)

午前9時30分～午後4時

(ただし、リサイクル本がなくなると次第終了します。)

場所 千代田図書館3階閲覧室

※なお、当日は、手提げ袋などをご持参下さい。



天下泰平 国土安穩



随想

きょういく

「大変、厳粛な雰囲気だった」「素晴らしい若者たちだ」「日本一だといつてもいい」等々、今年も称賛の声が耳に入った。少々時期はずれの話題かと思う

が、これはわが千代田区教育委員会主催した一月の成人式の模様を称える大人たちの言葉。どうしても一度はこの紙上で区民の皆様へ報告しておきたかった。

今年の成人式は「荒れる成人何とやら——」とマスコミを大いに賑わした。「マスコミは事件になると取り上げるが立派な若者の姿は無視だね」などと、あのころ私たちは冗談を飛ばし合った。

前半第一部の儀式だけが素敵だったのではない。続く第二部も成人式を迎えた若者たちによる企画運営委員会がアイデア溢れるプログラムを組んで楽しく和やかな情景が繰り広げられた。明るい笑い声やエールが会場を盛り上げた。

ところで、千代田区のごうした成人式が年毎にその雰囲気や内容などを充実してゆくのにはなぜか。私はこう信じる。やはり千代田区ならではのことであると……。

その第一は、すでに「かけはし」第二十六号（平成八年九月二十日発行）のこの欄で「生活リズムを——行事の意義を見直す」と題して述べたことであるが、私はそこで、わが区は全区をあげて行事を大切にしていることを言った。なぜ行事が大切かはここに重複して述べるのを

避けるが、教育関係一つを取り上げてみても幼稚園、小中学校の入学式・卒業式をはじめ運動会・小中連合陸上大会の開会式・閉会式などが整然と執り行われている。もしも、きちつとした式に臨むのは成人式が初めてなどということであったら式場が雑然としたり喧騒となったりするのは当たり前。（勿論、国歌は歌えない

今年も若者は立派だった — 子どもはよき環境で育つ —

千代田区教育委員長職務代理

栗岩 英雄



いであろうし、国旗に対する姿勢も身に付いていないことであろう。人の一生の過程ではその時々々にイニシエーション（通過儀礼）があり、それを大切に体験することで人生の節目々々が備わって立派な人格が形成されるのである。そうしたことを千代田区民は大事な伝統として継承している。それを若者たちも自ずから

受け継いでおり成人式の姿となって現れたのだ。

第二は、町の人々が子どもたちや若者の成長を見守っているということ。一例を挙げよう。町内会主催で幼稚園・小中学校への入園児、入学児童、生徒を祝う会を催している。修了・卒業時も同じ。子どもたちはどんなに嬉しいことだろう。

中学生などは多少照れていても心中喜んでるに違いない。子どもは様々な行事で町の大人たちと顔見知りになる。それは子どもが誤った方向へ陥りかかった時の抑止力ともなって働く。子どもは町・地域の温かい目に支えられて育つ。「子どもは家庭の子、学校の子」そして「町の文化（行事もその一つ）を大切にすることを身に付けた人格は、そうしたよき環境の中で育成されていく。

終わりに一言。成人式のことでは、若者の主体的な活動を大切に、陰でのリーダーシップを発揮している教育委員会事務局のご苦労が年々積み重ねられているのがあることを申し添えておきたい。

編集後記

新学期が始まり早や二ヶ月が経ちます。「新学期」をきっかけに、習い事をはじめた方や、クラブ活動などでますます練習にはげむ子どもたちも多いことと思います。夢に向かってひたむきに挑戦する人々に焦点をあてたNHK「プロジェクトX」が面白い。番組では、窮地・困難にたたされた人々が、その状況に立ち向かい、最後には夢を成し遂げる姿が紹介される。

今号で紹介した学校行事も、参加した子どもたちにとって、初めての体験であり、挑戦です。この経験や達成感は、大きな夢に向かう子どもたちの心の支えとして、蓄えられていくことと思います。その様子も多くの皆様にお伝えできたいと思います。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

くりいわ ひでお
千代田区教育委員長職務代理

随想

教育広報「かけはし」第四十九号
平成13年5月31日発行
編集発行/千代田区教育委員会
〒102-8688 千代田区九段南1-6-11
☎(3)264-2111 内3114